



(独)航海訓練所 / 神戸大学練習船深江丸代船検討準備会 /
「震災10年神戸からの発信」事業・みなとの実行委員会 主催



「震災10年神戸からの発信」神戸港事業プレイベント・船上シンポジウム2005

「自然災害にも活用できる練習船の機能」

日 時： 平成17年 2月15日(火) 13:15 ~ 18:30

場 所： 神戸港新港第1突堤係留中の練習船内
シンポジウム 青雲丸(航海訓練所練習船) 第1教室
懇談会 深江丸(神戸大学海事科学部附属練習船) 学生ホール

参加費： 1,500円(資料代として、懇談会を含む)

プログラム

13:15~13:30 あいさつ 菅原長英(航海訓練所教育部長)
西田修身(神戸大学海事科学部長)
小柴善博(神戸市みなと総局長)

13:30~14:50 第1セッション「災害と船」
日本列島の地震情勢 石橋克彦(神戸大学都市安全研究センター教授)
阪神淡路大震災における練習船の救援活動実績について 乾 真(航海訓練所教授)
想定される津波被害 久保雅義(神戸大学海事科学部教授)
ボランティア船の過去・現在・未来 石田憲治(神戸大学海事科学部教授)

15:00~16:20 第2セッション「陸上から船に望む機能」
レスキュー船構想と緊急食料 金沢和樹(神戸大学農学部教授)
地域医療支援 石川雄一(神戸大学医学部教授)
医療ネットワーク 鎌江伊三夫(神戸大学都市安全研究センター教授)
緊急医療 小澤修一(兵庫県災害医療センター長)

16:20~17:30 総括質疑と船内見学
代船深江丸の検討をはじめるとあって 井上欣三(神戸大学海事科学部教授)・
矢野吉治(練習船深江丸船長)・三輪 誠(練習船深江丸機関長)

17:30~18:30 懇談会(深江丸学生ホールにて)

申込方法： 参加希望の方は、2月10日までに、氏名、所属、住所、Eメールアドレスを
ご記入の上、Eメール(sr@cs.maritime.kobe-u.ac.jp)またはFAX
(078-431-6364)にてご登録ください。

問い合わせ： 船上シンポジウム2005実行委員会
(参加申込先) 〒658-0022 神戸市東灘区深江南町5-1-1
電 話： 078-431-6341 ・ FAX： 078-431-6364
Eメール： sr@cs.maritime.kobe-u.ac.jp
ホームページ： <http://cs.maritime.kobe-u.ac.jp/symposium/>



会場へは： 神戸港新港第1突堤青雲丸・深江丸
(JR・阪神元町駅から南東へ徒歩15分 /
JR・阪神・阪急三宮駅から南西へ徒歩20分、
共にタクシー約10分)

当日連絡先：090-3022-4020(深江丸船舶電話)
090-3026-1657(青雲丸船舶電話)

